

桐朋中学校・桐朋高等学校 ソーシャルメディアガイドライン

(2023年9月 第1版)

スマートフォンやパソコンを使用して、LINE や X (旧 Twitter) 、Instagram などのソーシャルメディア (SNS) を利用することが一般的になりました。また、校内でもタブレット端末の導入に伴い、Microsoft Teams や ClassPad.net 等で生徒と教職員、および生徒どうしのオンラインでのやり取りが増えることが見込まれます。

オンラインでのメディアは便利なものですが、使い方を注意しないと想像外のトラブルになり、被害者にも加害者にもなる可能性があります。また、のめりこむことで日常生活がおろそかになったり、健康を損ねたりする危険もあります。利用に際し、学校の基本的な考えを次のように示します。

〔桐朋生諸君へ〕

1. 一度発信した情報は完全には削除できません

X (旧 Twitter) や Instagram、TikTok などのソーシャルメディア (SNS) は世界につながっています。書き込んだ発信内容は、世間の・世界中の人が見えています。一度書き込んだ内容は完全に消すことはできません。本人が削除しても、世界の誰かが保存していれば、思いもかけない目的で転送されてしまうかもしれません。ネット上の発信は常に世界中の人に見られる可能性があるということを意識してください。

仲間内で使う LINE 等のツールでも同じです。一度発信した情報は転送・拡散される可能性があることを意識してください。不用意な発言や投稿をすることはとても危険です。

2. 個人情報に掲載してはいけません

不特定多数の人が見ることでできるメディアには、個人が特定できる名前・学校名・住所・電話番号・メールアドレス・クラス・出席番号・年齢・あだ名などを投稿してはいけません。他人の情報だけでなく、自分自身の情報についても同じです。

また、顔写真はもちろん、学生服・体育着・ユニフォームなどを着用している写真や画像も、個人が特定される危険をはらんでいます。「これは危ないかな」と少しでも思ったら投稿しないという慎重さが必要です。

3. 他人や自分の名誉を傷つける書き込みをしてはいけません

他人を傷つけたり困らせたりする可能性が少しでもある書き込みは、してはいけません。あなたが無意識に、不用意に発信した言葉でも、他人には不快に感じ、傷つく言葉が多くあります。SNS や LINE 等の発信によって誰かを傷つけることを、本校は絶対に許し

ません。こうした行為が発覚した場合、ネットパトロール業者とも連携し、毅然とした態度で指導を行います。

また、自分自身を言葉で「自虐」してメディアで表現することも、決して望ましいことではありません。他人を大事にするのと同じくらい、自分のことも大切にしてください。

4. ルールやマナーを積極的に学びましょう

学校でも、ソーシャルメディアの利用に関するルールやマナーを学ぶ機会がたくさんあります。中学は技術、高校は情報の授業で学習します。また、学年の取り組みとして講習会などが実施されることもあります。こうした場で積極的に学び、適切なルールやマナーを身につけていきましょう。

5. 距離を置き、無視する勇気を持ちましょう

ソーシャルメディアの内容について、過度に反応しないように心がけましょう。書き込まれた内容だけでは、それを書き込んだ人の意図や感情が分からないことはよくあります。その書き込みで悩んだり、傷ついたりするのなら、「見ない」「気にしない」と無視したり距離を置いたりする勇気も必要です。

また、ソーシャルメディアを「利用しない」「距離を取る」ことは恥ずかしいことではありません。興味本位で周囲に流されてしまうことがないようにしてください。

6. 直接の対話を大切にしましょう

他者とのコミュニケーションは、ソーシャルメディアが全てではありません。特に学校で会える相手とは、直接会って対話するコミュニケーションを大切にしてください。

もし、ソーシャルメディアの利用に関して困ったことや不安なことがあったら、すぐに先生や保護者・スクールカウンセラーなど信頼できる大人に直接、相談しましょう。決して一人で悩まないでください。

〔保護者の方へ〕

- ・本校では、生徒が校内・校外を問わずソーシャルメディアを通じてコミュニケーションを取ることにについて、上記のガイドラインに沿って指導をいたします。ご家庭でも、ガイドラインをご理解の上、ご子息と定期的に内容の確認をお願いします。
- ・中学生ではLINE等をめぐる生徒間のトラブルが、高校生ではX(旧Twitter)やInstagramでの投稿が問題になることが特に多くなっています。本校でも指導と啓発をしますが、不適切な投稿があった場合、本人とご家庭が最終的な責任を負うことになる場合が多くあります。ご家庭の理解を得て本人がルールやマナーを守れるようになることが大切であると考えますので、ご協力をよろしくお願いします。